

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
「繊維・染色技術」	新版カラーリング技術（実教出版） 新版テキスタイル技術（実教出版）	2単位	繊維科・2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 繊維の製造方法や染色方法について素材の性質や染色の原理を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</p> <p>2 繊維の製造技術や染色技術に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付ける。</p> <p>3 繊維の製造や染色加工に関わる技術を活用した繊維製品を開発する力の向上を目指して自ら学び、繊維産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>
---------	---

2 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查
1 学期	1 素材	4	・テキスタイル素材について学習する。	中間
		5	・色素材料について学習する。	
	2 染色の基礎化学	6	・染色の物理化学について学習する。	期末
		7	・染色助剤の化学について学習する。	
2 学期	3 染色加工	8	・染色用水と排水について学習する。	中間
		9	・精練・漂白について学習する。	
		10	・浸染の基礎について学習する。	
		11	・浸染（セルロース系繊維）について学習する。	期末
		12	・浸染（たんぱく繊維）について学習する。	
3 学期	4 生活とテキスタイル技術	1	・人間の歴史と繊維について学習する。	学年末
	5 糸の製造	2	・紡績の基礎について学習する。	
	6 織物の製造	3	・織物製造の基礎について学習する。	

3 評価規準及び評価方法

(7) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	繊維の製造方法や染色方法について素材の性質や染色の原理を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	繊維の製造技術や染色技術に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。	繊維の製造や染色加工に関わる技術を活用した繊維製品を開発する力の向上を目指して自ら学び、繊維産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

(8) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習課題等で総合的に評価する。	授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習等の記述内容や発表内容及び班別活動等で総合的に評価する。	振り返りシートの内容や自己評価及び相互評価等で総合的に評価する。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要なもの、教科書、ノート、パソコン等の準備物を忘れないようにしてください。 ・ノート、課題等の提出は、期限を厳守してください。 ・学習内容の予習・復習をしっかりと取り組んでください。
--